

所 属	教育委員会 スポーツ健康課		
担当(係)名	スポーツ振興担当・選手強化担当	内線	3586

(款) 10教育費 (項) 8 保健体育費 (目) (2) 体育振興費
(明細書事業名) 学校体育振興費・スポーツ振興費・競技力向上対策費
スポーツ競技力向上対策費

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
600,000	諸収入 3,762	下記のとおり
(前年度 490,000)	一般財源 596,238	

2 事業目的

平成24年「ぎふ清流国体」における天皇杯・皇后杯獲得を目指し、競技力向上を図るとともに、県民の体力づくりや豊かなスポーツライフの実現を目指した総合型地域スポーツクラブの支援など、生涯スポーツの振興を図る。

3 主な事業

競技力向上対策

新 24 国体トップアスリート招聘事業費 0 12,252 (交付金)

日本のトップレベルの選手やチームを県外から招聘し、国体候補選手や選抜チームとの対戦や合同合宿等を実施し、競技力の向上を図る。

・ 中・高連携強化事業費 14,745 23,499 (交付金)

24 国体での主力となる現中学生のレベルを底上げするため、中・高校生の合同練習や合宿を実施する。

中学から高校への移行期においてスムーズにレベルアップしていくため、中高指導者の連携による一貫した指導体制の確立を目指す。

・ 24 国体特別支援事業費 54,300 94,300 (委託料)

国体で優勝や上位入賞が期待できる優秀な選手や企業・大学・クラブチームを強化指定し、合宿や遠征の強化事業に係る経費の助成及び大会参加費等の支援を行う。

・ 強化指定交付金 56,252 75,878 (交付金)

中学・高校・地域クラブの実績のある運動部を強化指定し、合宿や遠征等の強化事業に対して支援する。

新 【「開催地拠点校」の指定】

少年種目開催市町において、地元選手を育成し、国体開催を盛り上げるとともに、国体後においても、実施競技が開催地でシンボリックなスポーツとして定着を図るため、「拠点校」を指定し活動を支援する。

生涯スポーツの振興

・ 総合型地域スポーツクラブ支援事業費 11,000 11,000 (委託料)

だれもがいつでもスポーツに親しむことのできる社会を目指して、平成26年までに多種目・多世代型の総合型地域スポーツクラブを100以上設立することを目標に、指導者養成やクラブ運営の支援を行う。